



たくさんの寄贈を ありがとうございました!!

市内企業・団体みなさんから、たくさんのマスクや消毒液、フェイスシールドの寄贈がありました。いただいた物品は学校や福祉施設などで、新型コロナウイルス感染予防のため、大切に使用させていただきます!



■左から
ハウズドゥ!幸手市役所前店宇津木代表取締役、
塗替え本舗増山代表取締役、
株式会社幸手スプリング菅井代表取締役、木村市長

5月20日(水)に、幸手スプリング・塗替え本舗・ハウズドゥ!幸手市役所前店からマスク(15,000枚)が寄贈されました。株式会社幸手スプリングの菅井代表取締役は「地域の事業者として、商工会青年部の部員として、さらには幸手市に住む一人の親として、これから再開するであろう学校に関して多くの方々のお役に立ちたいという気持ちで寄付いたしました。有効活用してもらえればありがたいです。」とコメント。木村市長は「いただいたマスクはご意向に沿い、学校再開までに市内の小・中学生に配布し、子どもたちの感染予防に活用させていただきます。」と受け取りました。

5月21日(水)に、幸手ロータリークラブからマスク(7,500枚)が寄贈されました。

幸手ロータリークラブの渡辺会長は「マスクも一般的に出回ってきましたが、それでも毎日必要となるマスクを寄付することが一番であろうとクラブで考えました。学童保育施設や、福祉施設などで有効活用していただければありがたいです。」とコメント。

木村市長は「まだまだ気を抜けない状況の中におりますので、学童保育施設や福祉施設などで有効に活用させていただきます。」と受け取りました。



■左から 梨本社会福祉委員長、柳沼幹事、
渡辺会長、木村市長



若草俳句会

「蜜柑の花・迎へ梅雨」
みかんの花

街に溶け込み楚々と咲く
古谷まさ枝・幸手市上高野

迎へ梅雨
空き家を壊す重機音
新井久女・五霞町小福田

海青し
みかんの花の盛りかな
岩崎愛子・幸手市西

迎へ梅雨
空うかがいて傘を置く
窪田幸代・幸手市香日向

窓あけて
ほのかな香り花蜜柑
齋木美山・幸手市北

エナメル
小さき長ぐつ走り梅雨
進藤洋二郎・幸手市緑台

走り梅雨
渡り廊下の足の跡
沼尾光英・幸手市香日向

療原短歌会

世界一の

高所に光る千チカカ湖
葦の浮島に
人ら暮せり
桑島正江・東四

出荷なきハウスの
中はとりどりの
花ひしめきて
コロナ禍すすむ
尾上喜子・栄六

大輪を
数多咲かせて一本の
カサブランカは
直く立ちおり
澤田俊子・緑台一

さりげなく離れ
すれ違う午後四時の
散歩の人も
手作りマスク
中村孝子・南三

放たれて稚鮎のごとく
園児らの
声はなやげる
外野の橋に
野口と志子・東五



自然の恵みあふれる環境と 地域とのつながりを大切に

幸手市立吉田幼稚園

吉田幼稚園は、市内唯一の公立幼稚園で、今年で開園42周年となります。小学校校舎や校庭を活かした本園では、現在4、5歳児の2学級29名の園児たちが、広い園庭を元気にのびのびと遊んでいます。

園内の畑や果樹を実らす植物など、自然が多いことが特色で、畑ではジャガイモ、サツマイモ、大根、玉葱、枝豆、キュウリ、ナス、ミニトマト、イチゴなど、果樹では、栗、柿、梅、びわ、キウイ、みかんなど、多くの自然物を味わう体験を食育に活かしています。

さまざまな園行事の中では、地域の人と交流するものも多く、昨年度の夕涼み会には、吉田小の和太鼓、東中の音楽部、桜高校のちんどん公演、古河市の科学ショー団体に来ていただきました。また、園児のおみこしで盛り上がります。

秋のお楽しみ会には、園児のお店屋さんなどを行い、今年はハロウィンパーティも同時開催予定です。

今後も更に幼児教育の充実、地域との協働に努めてまいります。

今後も更に幼児教育の充実、地域との協働に努めてまいります。

■左から 小川測量株式会社小川代表取締役、山西教育長、木村市長、株式会社山本地所山本代表取締役



5月27日(水)に、株式会社山本地所 山本代表取締役と、小川測量株式会社 小川代表取締役から、除菌・消臭剤(20L入り13箱・専用ポンプ容器26個)が寄贈されました。

両氏は「子どもたちの安全安心に配慮し、地域の意見もくみ取り、他市より先んじて新型コロナウイルス対策を行い、感染者を出さないようにしてほしいと思います。」「子どもたちが安心して勉強に集中できるように、環境を作ってほしいと思います。」とコメント。

木村市長は「新型コロナウイルス対策として貴重な除菌剤を学校などで大切に使用し、対応してまいります。」と受け取りました。

■左から 串田専務、木村市長、白石工務店白石代表取締役



5月27日(水)に、白石工務店からフェイスシールド(200枚)が寄贈されました。

白石工務店の白石代表取締役は「医療従事者が最前線で戦って、大変な思いをしています。市の事業でも、医療従事者が診療や診察を行う際に使用していただきたいです。」とコメント。

木村市長は、「新型コロナウイルス感染症予防体制の整備が急務です。いただいたフェイスシールドは、再開される乳幼児健診や学校における健康診断などにおいて活用し感染予防に努めてまいります。」と受け取りました。